概 要

消防局の管内一目統計

令和5年4月1日現在（火災・救急、救助・通信は令和4年中）

面積・人口・世帯	面　　積	人　　口	人口密度	世　帯　数
	793.31㎢ 佐賀市　431.82 ㎢ 多久市　96.56 ㎢ 小城市　95.81 ㎢ 神埼市　125.13 ㎢ 吉野ヶ里町　43.99 ㎢	337,755人 佐賀市　228,553 人 多久市　18,076 人 小城市　44,193 人 神埼市　30,792 人 吉野ヶ里町　16,141 人	426人／㎢	147,279世帯 佐賀市　103,284 世帯 多久市　7,892 世帯 小城市　17,203 世帯 神埼市　12,213 世帯 吉野ヶ里町　6,687 世帯

予算・機構・人事	消防予算	局・署・所	職　員　数	消防団員数
	54億4014万円 住民1人当り 16,107円 1世帯当り 36,938円	消　防　局　1 消　防　署　6 分　　署　3 出　張　所　5	定数　425　人 実員　425　人 （定数外職員25人除く）	定員　6,269人 実員　5,780人 （内女性団員160人）

機械・施設	ポンプ・タンク車	特殊車両	救　急　車	水　　利
	ポンプ車 17台 （救助ポンプ車4台含む） タンク車 9台	はしご車　3台 救助工作車　3台 化　学　車　3台 災害支援車　2台 水難救助車　1台	高規格救急車 20台 （非常用救急自動車含む）	消火栓 4,245基 防火水槽 1,032基

火災・救急	火災件数	出火原因	救急件数	救急事故種別
	108件 3.4日に1件の 割合で発生	① 火入れ　15件 ② たき火　9件 ③ こんろ　7件 ④ 排気管　6件	17,928件 1日当り49.1件の 割合で発生	① 急病　10,618件 ② 転院搬送　2,478件 ③ 一般負傷　2,259件 ④ 交通事故　1,163件

救助・通信	救助件数	救助事故種別	119番受信件数	災害別119番受信状況
	332件 1日に0.9件の 割合で発生	① その他の事故　136件 ② 交通事故　95件 ③ 建物等による事故　69件 ④ 水難事故　14件	28,563件 1日当り78.3件 （問合わせ、試験等含む）	火 災　149件 救 急　15,506件 救 助　219件 警 戒　1,581件

予防	防火対象物	中高層建築物（4階以上）	危険物施設	市民防火
	消防用設備設置対象 13,759件	4階～9階　942件 10階以上　94件	製造所　9件 貯蔵所　661件 取扱所　346件	幼年消防クラブ 76クラブ　4,580人 少年消防クラブ 4クラブ　189人 女性防火クラブ 1クラブ　7人

地　　勢

佐賀広域消防局管内は九州北西部に位置する佐賀県の中央部にあり、北は脊振山地から南は有明海に達します。

佐賀地方で前海(まえうみ)と呼ばれる有明海は、およそ８万年前の阿蘇山の大噴火によって九州全体に積もった土砂が風化して粘土質の泥に変わり、この泥が川によって海へ運ばれ、大きな干満に伴う潮位変動により堆積したことで広大な干潟となったといわれています。

この海は多くの河川が流れ込むことから栄養分が多く、全国有数のノリ養殖漁場となっているほか、秋には紅葉を見せる塩生植物のシチメンソウやムツゴロウなどといった国内では他に見られないめずらしい生物が約１５種類も生息しています。

当消防局は、佐賀市、多久市、小城市、神埼市、吉野ヶ里町の４市１町で構成されており、その管内面積 793.31ｋ㎡のうち、北部の山間部が約 41%、西部の盆地が約 11%で、それらを除くほとんどの土地は平坦な平野となっています。宅地・道路などの都市的利用以外は農地などの自然的利用とされていることから、春から夏にかけては緑のじゅうたんを敷き詰めたような田畑の景色を見ることができます。

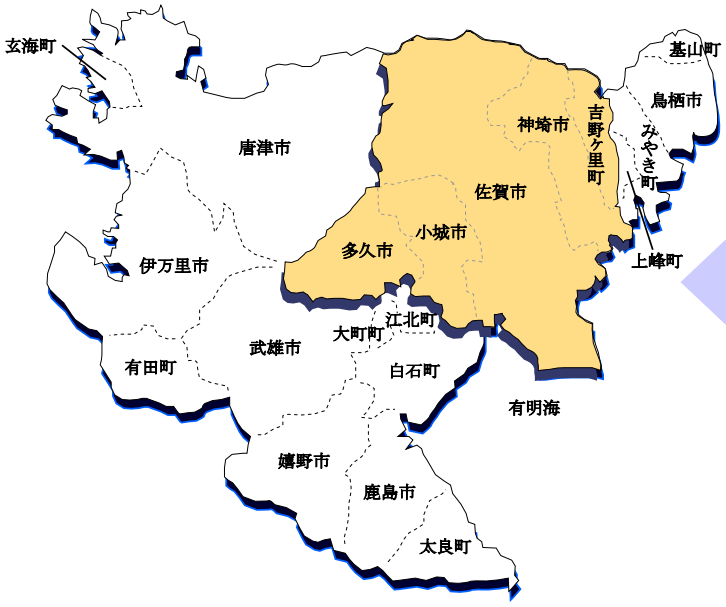
また、管内を流れる主要河川である嘉瀬川をはじめ、平野部では河川、クリーク、水路が発達しており、農業用水としてのみならず火災時における消防用水としての役割も果たすなど、住民に多くの恩恵を与えています。

気　　象

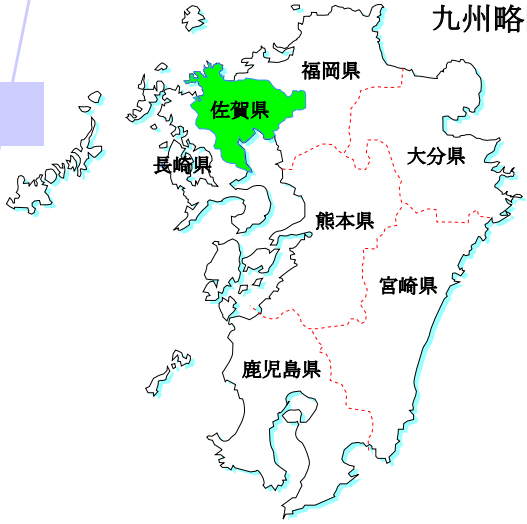
令和４年中の最高気温は７月で 37.4 度、最低気温は２月で－2.2 度を記録しましたが、年間の平均気温は 17.7 度、平均湿度は 69%と、比較的しのぎやすい温和な気候です。

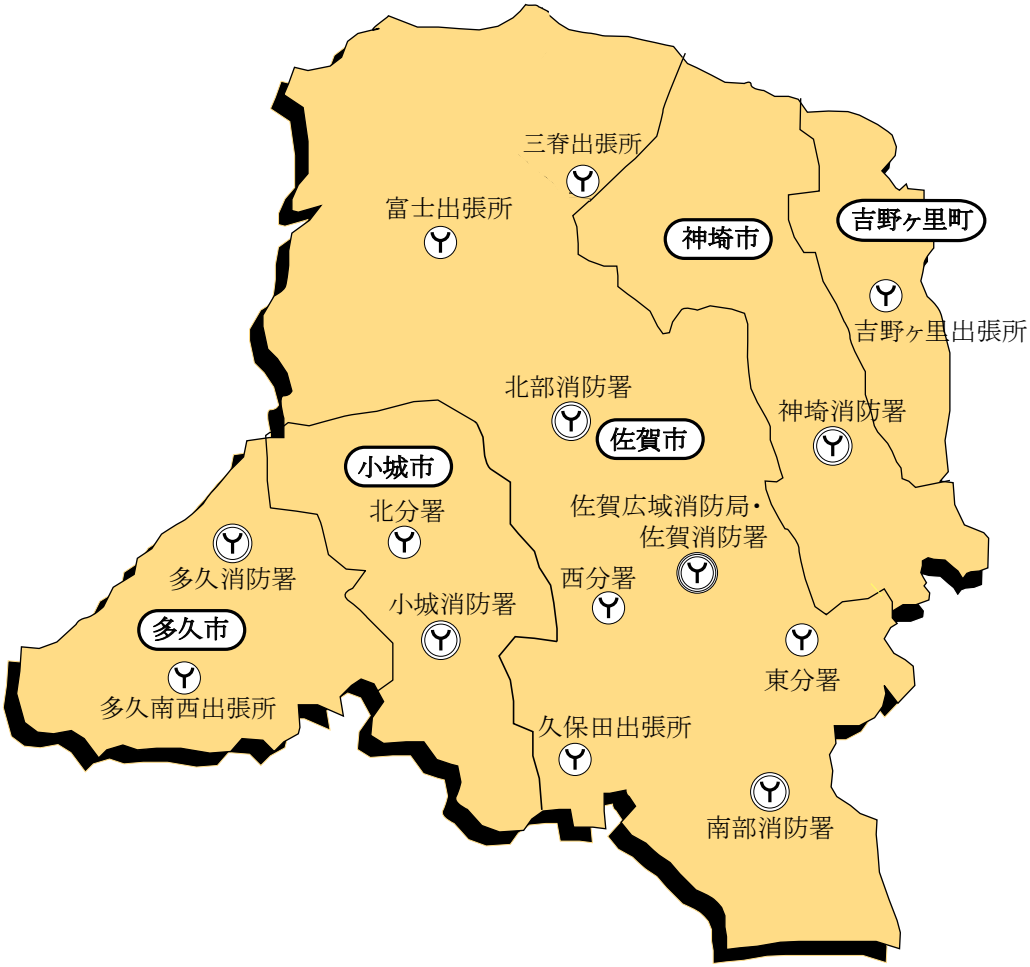
しかし、年によっては異常高温や大雨などの異常気象となることがあります。

位　置　図



佐賀中部広域連合





佐賀広域消防局管内図

構成市町の紹介

佐賀市

SagaCity

市の木
いちょう

市の花
さくら

佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ

人口：228，553人
面積：431．82k㎡

佐賀市は、長崎街道沿いに往時の面影を残す歴史ある城下町であり、北部の森林と佐賀平野の緑、南には豊穣の有明海をのぞむ自然豊かな町でもあります。また、インターナショナルバルーンフェスタをはじめとするイベントや、温泉、個性的な動植物が生息する干潟など、多彩な魅力がいっぱいです。

平成27年7月には、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られた「三重津海軍所跡」が、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」のひとつとして、世界文化遺産に登録されました。

有明海

三重津海軍所跡の木製護岸

多久市

TakuCity

市の木
かえで

市の花
うめ

多久聖廟（国重要文化財）

人口：18，076人
面積：96．56k㎡

「朋有り 遠方より来る 亦楽しからずや……」緑豊かな文教の地、多久市は、日本三大孔子廟の一つ多久聖廟をもつ孔子の里として、東原庠舎(藩校を復元した研修施設)、四季を楽しめる西渓公園や武家屋敷など歴史と文化の香りが漂うまちです。

西渓公園

小城市

OgiCity

市の木
さくら

市の花
さくら

清水の滝

人口：44，193人
面積：95．81k㎡

小城市は、北には秀峰天山、南には宝の海有明海を有しています。春には満開の桜、夏には蛍の乱舞、秋には棚田の彼岸花、冬には美味なる有明海の幸など、1年を通じて見どころが満載です。

小城公園の桜

構成市町の紹介

神埼市

KanzakiCity

市の木
もみじ

市の花
さくら

国の名勝　九年庵

人口：　30，792人
面積：　125．13k㎡

神埼は古代から常に人の往来と定住があった所で、弥生時代には巨大環濠集落、奈良時代には神埼郡衙、中世には平家の基礎財力がこの地で蓄えられました。

江戸時代、長崎街道神埼宿には本陣、脇本陣が備えられ東肥前の経済の中心を成していきました。

脊振山頂からの標高差のある風景は観光素材となり、特に九年庵は九州の紅葉の名所として知られています。

神埼市マスコットキャラクター
くねんワン・くねんニャン

吉野ヶ里町

Yoshinogari Town

町の木
さざんか

町の花
さくら

吉野ヶ里歴史公園

人口：　16，141人
面積：　43．99k㎡

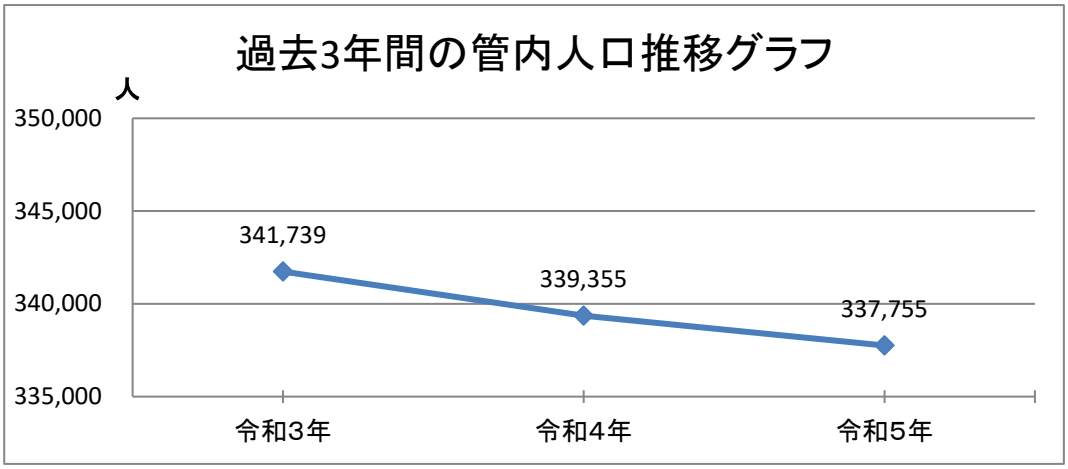
吉野ヶ里町は、日本茶樹栽培発祥の地と伝えられる霊仙寺跡や日本最大級の環濠集落跡吉野ヶ里遺跡のある歴史浪漫のあふれる町です。また、サザンカ自生北限地（国天然記念物）であり、脊振山の緑豊かな自然と佐賀平野の雄大な田園地帯が見せる四季折々の景色は多くの観光客を魅了しています。

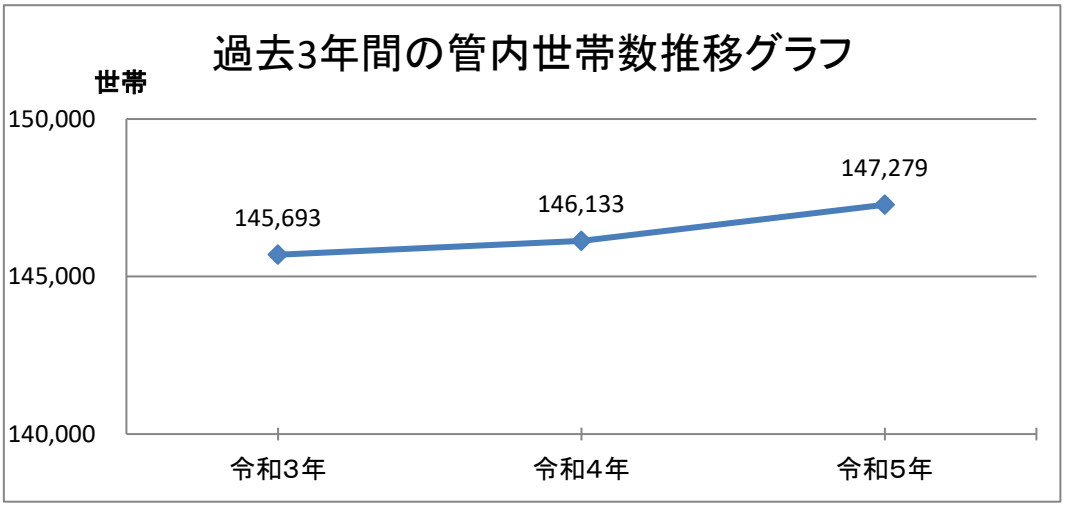
霊仙寺跡から望む茶畑の景色

佐賀広域消防局管内の人口等推移

令和5年4月1日現在

令 和 5 年					
市	人口(人)	世 帯	面積(km²)	人口比率	面積比率
佐 賀 市	228,553	103,284	431.82	67.67%	54.43%
多 久 市	18,076	7,892	96.56	5.35%	12.17%
小 城 市	44,193	17,203	95.81	13.08%	12.08%
神 埼 市	30,792	12,213	125.13	9.12%	15.77%
吉野ヶ里町	16,141	6,687	43.99	4.78%	5.55%
合 計	337,755	147,279	793.31	100.0%	100.0%





消防庁舎の現況

		構　造	敷地面積	延　面　積	建築年月	庁　舎　写　真
消防局・佐賀消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階	11,817.12㎡	6,961.58㎡ 1F 2,167.15㎡ 2F 1,999.39㎡ 3F 1,617.54㎡ 4F 1,135.46㎡ PH 42.04㎡	R3.1	
	訓練塔A棟	鉄筋コンクリート造 地上5階		229.30㎡	R2.6	
	訓練塔B棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		106.33㎡	R2.6	
	訓練塔C棟	鉄筋コンクリート造 地上3階		401.96㎡	R2.6	
	車庫	鉄骨造 平屋建		254.36㎡	R3.12	
	その他	4棟		51.25㎡	R3.1 R3.3 R4.3	
西分署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	1,315.78㎡	540.65㎡ 1F 359.15㎡ 2F 181.50㎡	S58.3	
	その他	1棟		9.28㎡		
東分署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,827.57㎡	503.81㎡ 1F 361.20㎡ 2F 142.61㎡	H18.3	
	その他	1棟		10.35㎡		

		構　造	敷地面積	延　面　積	建築年月	庁　舎　写　真
多久消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,676.51㎡	1,006.34㎡ 1F　550.23㎡ 2F　456.11㎡	H6.3	
	車庫	鉄骨造 2階建		450.90㎡	H6.3	
	A訓練塔	鉄筋コンクリート造 5階建		174.00㎡	H6.3	
	B訓練塔	鉄筋コンクリート造 2階建		80.00㎡	H6.3	
	その他	2棟		73.40㎡	H6.3	
多久南西出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,452.06㎡	393.14㎡	R2.6	
	その他	1棟		4.41㎡	R2.9	

		構　造	敷地面積	延　面　積	建築年月	庁　舎　写　真
南部消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,624.89㎡	1,678.17㎡ 1F 1,085.37㎡ 2F 592.80㎡	H28.2	
	訓練塔	鉄骨造 5階建		178.93㎡	S61.12	
	補助塔	鉄骨造 平屋建		19.11㎡	S61.12	
	その他	1棟		8.82㎡	H28.2	
久保田出張所	庁舎	鉄骨造 2階建	762.80㎡	349.16㎡ 1F 244.24㎡ 2F 104.92㎡	H20.12	
	その他	1棟		3.24㎡	H20.12	
北部消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,129.84㎡	1,786.26㎡ 1F 1,390.64㎡ 2F 395.62㎡	H25.8	
	訓練塔	鉄骨造 2階建		36.00㎡	H25.8	
	その他	1棟		8.24㎡	H25.8	
富士出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,075.20㎡	329.67㎡	H17.8	
	その他	1棟		11.96㎡	H17.8	

		構　造	敷地面積	延　面　積	建築年月	庁　舎　写　真
小城消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	7,035.67㎡	1,558.49㎡ 1F　996.89㎡ 2F　561.60㎡	H26.7	
	訓練塔1	鉄骨造 2階建		82.76㎡	H27.3	
	訓練塔2	鉄骨造 2階建		71.74㎡	H27.3	
	訓練塔3	鉄骨造 2階建		27.50㎡	H27.3	
	補助訓練塔	鉄骨造 2階建		16.00㎡	H22.3	
	車庫	鉄骨 スレート造 平屋建		253.20㎡	H5.2	
	車庫	軽量鉄骨造 平屋建		48.95㎡	H23.3	
	その他	2棟		26.24㎡	H6.2 H26.8	
北分署	庁舎	鉄骨造 2階建	1,508.96㎡	569.15㎡ 1F　426.59㎡ 2F　142.56㎡	H16.3	

		構　造	敷地面積	延　面　積	建築年月	庁　舎　写　真
神埼消防署	庁舎	鉄筋コンクリート造 2階建	5,370.30㎡	2,197.60㎡ 1F 1,441.57㎡ 2F 756.03㎡	H8.3	
	A訓練塔	鉄筋造 5階建		159.19㎡	H8.3	
	B訓練塔	鉄筋造 2階建		81.43㎡	H8.3	
三脊出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,801.59㎡	385.86㎡	H30.3	
	その他	1棟		4.41㎡	H30.3	
吉野ヶ里出張所	庁舎	鉄骨造 平屋建	1,390.41㎡	359.65㎡	H27.1	

消防車両一覧表

令和5年4月1日現在

所属別	種別	ポンプ車	救助ポンプ車	タンク車	化学車	はしご車	救助工作車	水難救助車	高規格救急車	指揮隊車	災害支援車	機動連絡車	査察車	指令車	資材搬送車	林野火災工作車	連絡車（普）	連絡車（軽）	人員輸送車	燃料補給車	特殊車両	合計
局	総務課																2	1	1			4
	警防課									1		1						1	1			4
	予防課												1					1		1		3
	小計									1		1	1				2	3	2	1		11
佐賀消防署	署	3		1		2	2		4	1			1		1			3	1		2	21
	西分署	1		1					1									1				4
	東分署	1		1					1									1				4
	小計	5		3		2	2		6	1			1		1			5	1		2	29
多久消防署	署	1		2		1			1					1	1		1		1			9
	南西出張所		1						1									1				3
	小計	1	1	2		1			2					1	1		1	1	1			12
南部消防署	署	1	1		1				1		1			1	1			1	1			9
	久保田出張所	1							1									1				3
	小計	2	1		1				2		1			1	1			2	1			12
北部消防署	署		1	1	1			1	2					1	1			1	1			10
	富士出張所	1							1									1				3
	小計	1	1	1	1			1	3					1	1			2	1			13
小城消防署	署	1		1			1		2		1			1	1			1	1			10
	北分署	1		1					1									1				4
	小計	2		2			1		3		1			1	1			2	1			14
神埼消防署	署	1	1		1				2					1	1	1	1		1		1	11
	三脊出張所	1							1									1				3
	吉野ヶ里出張所			1					1									1				3
	小計	2	1	1	1				4					1	1	1	1	2	1		1	17
合計		13	4	9	3	3	3	1	20	2	2	1	2	5	6	1	4	17	8	1	3	108

※　特殊車両：「水陸両用バギー」及び「重機」を示す。

重機

重機搬送車

消防ポンプ自動車ＣＤ－Ⅰ型

佐賀広域消防局の沿革及び施設の概要

昭和23年　5月	佐賀市消防本部を設置
昭和38年 11月	多久市消防本部を設置
昭和44年 11月	神埼地区消防事務組合消防本部を設置
昭和46年 11月	小城地区消防事務組合消防本部を設置
昭和49年　3月	佐賀郡消防事務組合消防本部を設置
平成12年　4月	平成12年4月1日　佐賀地区広域市町村圏組合佐賀広域消防局発足
	職員定数を343人とする
	消防局に総務課、予防課、消防課、通信指令課を置く
	5署1分署5出張所（旧消防本部の署所を引継ぐ）を置く
	通信指令装置の運用開始
平成15年　3月	南部消防署庁舎大規模改修
	平成15年3月31日　佐賀地区広域市町村圏組合解散
平成15年　4月	平成15年4月1日　佐賀中部広域連合佐賀広域消防局発足
平成16年　3月	小城消防署北分署庁舎新設
平成17年　8月	北部消防署富士出張所庁舎新築
平成18年　3月	佐賀消防署東出張所と南部消防署諸富出張所を統合し、佐賀消防署東分署を新設
4月	総務省消防庁から高度救助隊設置の指定を受ける
5月	臨時議会において佐賀中部広域連合職員定数条例を改正、団塊世代の大量退職に伴い、前倒し採用による対応を図る（定数外処理）
平成19年　4月	女性消防吏員初採用
平成20年　4月	再任用制度導入（5人再任用）
12月	南部消防署久保田出張所新築
平成21年　1月	佐賀消防署に高度救助隊を置き、高度救助資機材を配置
4月	北部消防署に水難救助隊を置き、水難救助車を配置
	小城消防署に特別救助隊を置き、救助資機材を配置
平成22年　4月	総務省消防庁の国際消防救助隊員に登録される（6名）
	位置情報通知システム統合型の運用開始
平成23年　4月	消防救急通信指令システムを部分更新し、運用開始
平成24年　1月	佐賀中部広域連合内常備消防広域化基本合意書調印式を実施
平成24年　1月	佐賀県知事から佐賀中部広域連合佐賀広域消防局と神埼地区消防事務組合消防本部の合併が許可される

平成25年	3月	平成25年3月31日　神埼地区消防事務組合解散
	4月	平成25年4月１日　神埼地区消防事務組合消防本部と合併 6署3分署4出張所となる　職員定数を425名とする
平成25年	8月	北部消防署庁舎新築
平成26年	4月	消防救急デジタル無線の運用開始
	7月	小城消防署庁舎新築
平成27年	1月	神埼消防署吉野ヶ里出張所庁舎新設
	2月	神埼消防署吉野ヶ里出張所運用開始　6署3分署5出張所となる
平成28年	2月	南部消防署庁舎新築
平成30年	3月	神埼消防署三脊出張所新築
令和 2年	6月	多久消防署多久南西出張所新設
	10月	多久消防署多久南西出張所運用開始　6署3分署6出張所となる
令和 3年	1月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新築
	2月	佐賀広域消防局・佐賀消防署新庁舎運用開始
	4月	組織機構の改編に伴い、消防局「消防課」を「警防課」に、消防局「通信指令課」を「情報指令課」に、消防署「警防1課及び警防2課」を「消防1課及び消防2課」に改める。 高機能消防指令センター運用開始
	5月	佐賀消防署に防災学習広場を設置し、運用開始
	10月	救急出動体制強化等を図るため、佐賀消防署中央出張所の機能を佐賀消防署に移転統合し、中央出張所を廃止　6署3分署5出張所となる

各種協定の状況

令和5年4月1日現在

[相互応援関係]

協定書等種別	協定先	締結年月日
糸島市との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	糸島市	平成 25年 4 月 1 日
久留米広域市町村圏事務組合との隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	久留米広域市町村圏事務組合	平成 25年 4 月 1 日
佐賀県常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	佐賀県下の消防本部(5本部)	平成 26年 7 月 2 日
福岡佐賀県境隣接常備消防相互応援協定 (火災・救急・救助・その他災害)	筑紫野大宰府消防組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合 春日・大野城・那珂川消防組合	平成 25年 9 月 1 日

[高速道路関係]

協定書等種別	協定先	締結年月日
長崎自動車道にかかる消防業務に関する覚書	鳥栖・三養基地区消防事務組合	平成 21年 4 月 1 日
高速自動車道における消防の相互応援に関する協定	佐世保市 県央地域広域市町村圏組合 杵藤地区広域市町村圏組合	平成 12年 4 月 1 日

[空港関係]

協定書等種別	協定先	締結年月日
佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定	久留米広域市町村圏事務組合 柳川市	平成 20年 1 月 1 日
佐賀空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	佐賀空港事務所	平成 20年 1 月 1 日

[無線関係]

協定書等種別	協定先	締結年月日
防災行政無線遠隔制御装置の運用に関する協定等	佐賀市(諸富町・大和町・富士町・川副町・東与賀町・久保田町) 小城市	平成 12年 4 月 1 日
	多久市	平成 22年 2 月 1 日
	神埼市・吉野ヶ里町	平成 25年 4 月 1 日
佐賀県防災、行政衛星無線設備の管理及び運用に関する委託協定	佐賀県	平成 12年 4 月 1 日

[その他]

協定書等種別	協定先	締結年月日
他の都道府県若しくは他の都道府県に属する消防防災ヘリコプターによる支援を受けた場同ヘリコプターとの合同訓練を行った場合の負担に関する協定	佐賀県	平成 25年 2 月 20 日
災害弱者緊急通報システムに関する覚書	佐賀市	平成 20年 4 月 1 日
	多久市	平成 12年 4 月 1 日
	神埼市	平成 31年 4 月 1 日
緊急消防援助隊佐賀県大隊の応援出動における食料等の供給に関する協定	佐賀県生活協同組合連合会	平成 28年10月 28 日
災害時における消防用水等の供給支援に関する協定	佐賀県生コンクリート工業組合	平成 29年12月 26 日
緊急時の道路維持管理資材の使用に係る協定	佐賀市、多久市、小城市、神埼市	令和 2 年 3 月 10 日
	吉野ヶ里町	令和 2 年 3 月 16 日
佐賀県消防防災ヘリコプター支援に係る協定	佐賀県	令和 3 年 3 月 22 日

※平成12年4月1日佐賀広域消防局再編に伴い、全面的に再協定を行う。
　また、合併等で名称が変わったものについては、事務承継の観点から変更後の名称とする。